

平成25年度 大阪商業大学高等学校 学校評価

1. めざす学校像

- (1)地域から信頼される学校、近隣より生徒が集まる学校作り
  - 共学校として認知される学校を目指す（女子生徒数の割合30%を目標に）
  - 生徒・保護者の満足度を更に高めるための、コースコンセプト・カリキュラムの再編と創造
- (2)学校生活の充実
  - コースコンセプトに沿って、教職員の英知が結集できる学校作りと生徒が目標に向かって努力する学校
  - 施設、設備、環境整備…さらに快適で清潔な学習環境作りを年次計画で進めていく
- (3)保護者との連携を強め、共に協力して子どもを育てる『協育』の実践

2. 中間的目標

- 学習指導構想
  - (1)学習活動の意識付けと家庭学習の習慣づけ
    - 現状分析に基づき、引き続きコースコンセプトの見直し、再設定
    - 進学実績、グローバル商大コースを含め放課後授業の見直し
    - 家庭学習の定着化の取り組み・他大学対策講座の設定
    - カリキュラム改訂に向けての取り組み
  - (2)不登校など生徒への指導
    - 不登校生徒に対する授業確保と学力保障の取り組みの更なる推進、コーディネーターの養成
    - 特別支援教育の取組
- 生活指導構想
  - (1)中途退学者の減少を目指す取り組み
    - 基本的生活習慣の確立
    - 学習意欲の向上
    - 保護者・生徒との面談と意思疎通の更なる拡大
  - (2)自治活動の更なる活性化。あいさつ運動の推進。地域活動との連携
- 進路指導構想
  - (1)系列大学を含めての連携
    - 大阪商業大学・神戸芸術工科大学・大阪女子短期大学との高大連携の取組
    - 大阪商業大学、神戸芸術工科大学の教員による本校へのアドバイザー活動の強化・発展
    - 大阪商業大学附属幼稚園との連携
  - (2)系列大学にない学部を持つ大学との高大連携と提携作り
  - (3)学習指導と進路意識の高揚（総合の時間の利用）
- 教員の研究・研修構想
  - (1)教員研修を年3回以上の実施。学校評価と連動して研究・公開授業の実施。教科による研究授業の実施
  - (2)教育内容の充実（シラバスの完全実施）と生徒アンケートと公開授業による授業改善で教育力のアップ
  - (3)中堅・若手教員対象研修会（担任力、授業力）、交流会の開催と問題提起（教務・生活指導部）
  - (4)外部研修会への積極的な参加
- その他
  - (1)地域との交流の更なる発展、あいさつ運動（地域清掃、学校評価への参加）、学校行事の活用
  - (2)国際感覚育成
    - 修学旅行の検証・見直し
  - (3)学校評価の取組

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析[平成25年11月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p><input type="checkbox"/>授業力</p> <p><input type="radio"/>わかりやすい授業 肯定的回答(H25 生徒 63%, 保護者 63%, 教員 80%)</p> <p><input type="radio"/>意欲的に授業に取り組んでいるか 肯定的回答(H25 生徒 68%, 保護者 60%, 教員 58%)</p> <p><input type="radio"/>資格取得(各コースのコンセプトのうちの1つ) 肯定的回答(H25 生徒 76%, 保護者 89%, 教員 76%)</p> <p>わかりやすい授業をめざして、外部研修会に積極的に参加するなど、教員側は努力している。そのため、教員の肯定的回答が多くなっている。しかし、教員に比べ生徒・保護者の肯定的回答が低いので、今後も精進していく必要がある。コースコンセプトのうちの重要な要素——資格取得に関しては、生徒・保護者からも一定の評価を得ている。</p> <p><input type="checkbox"/>生活指導</p> <p><input type="radio"/>学校の規則は妥当か 肯定的回答(H25 生徒 66%, 保護者 87%, 教員 88%)</p> <p><input type="radio"/>学校の規則を守っているか 肯定的回答(H25 生徒 91%, 保護者 92%, 教員 52%)</p> <p><input type="radio"/>生活指導について納得度 肯定的回答(H25 生徒 59%, 保護者 86%, 教員 67%)</p> <p>学校の規則に関しては、生徒は厳しいと感じており、保護者・教員の思いと違っている。逆に“規則を守っているかどうか”は、生徒・保護者と教員の思いが違っている。納得度によると、保護者は肯定的な意見が多いので、生徒に生活指導についての理解を得る必要がある。</p> <p><input type="checkbox"/>進路指導</p> <p><input type="radio"/>進路情報の提供 肯定的回答(H25 生徒 78%, 保護者 83%, 教員 46%)</p> <p><input type="radio"/>授業・模擬試験が進路に対応しているか 肯定的回答(H25 生徒 70%, 保護者 78%, 教員 64%)</p> <p>進路指導に関しては、生徒・保護者は一定の評価をして頂いている。教員側の肯定的回答が少ないのは、まだ改良する余地があるのでは、という考えだと思われる。</p> <p><input type="checkbox"/>教員の研究・研修</p> <p>今回のアンケートでは、設問としてなかった。進路指導・人権教育など、他校との研修会にはもちろん参加しているが、教科指導の方法・話し方の研修など、多岐にわたって研修会に参加している。</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p> <p><input type="radio"/>あいさつ 肯定的回答(H25 生徒 80%, 保護者 74%, 教員 41%)</p> <p><input type="radio"/>学校行事が楽しい 肯定的回答(H25 生徒 76%, 保護者 90%, 教員 52%)</p> <p>あいさつ運動や行事に関して、生徒・保護者は一定の評価をしている。あいさつは強制するものではないので、教員側からも一声かけていく必要がある。</p>	<p>学校全体の雰囲気や入学、クラス、教育の熱心さについては、保護者の9割近く・教員の約8割以上、生徒も7割程が良好であると感じ、昨年度より増加している。ただ女子生徒の数値が6割を切る状況である。毎年、女子生徒への取り組みが問題となっているが、ハード面（施設・設備）での取り組みには難しさを感じる。しかし、ソフト面（女子生徒が中心となる学校行事への取り組み）での改善は、少しではあるが認められる。</p> <p>授業や資格取得については、三者とも7割以上が満足しているが、生徒の授業への意欲では、保護者・生徒とも6割以上が良好と感じているのに対して、教員は（特に女性教員）、2割5分とかなり低い。楽しい授業＝教員の話が面白い授業と取り違えている生徒たちがいるように感じられる。楽しい授業＝わかる授業ということを認識してもらうためにも、更に教員も授業研究や生徒に対し節度ある態度・姿勢で臨むことが大切である。しかし、現役で2名の国公立合格者を出したことは評価できる。今後更なる検証と実践を期待する。</p> <p>生活指導面では、生徒の相談の対応・規則の妥当性・指導の納得性については、三者の平均で6割以上が妥当と思っている。しかし、保護者・教員に比べ生徒の数値は低く、この項目でも女子の低さが目立つ。規則の遵守については、保護者と生徒は9割以上、教員は5割くらいしか守っていると感じていない。教員の目標とする生活指導と、生徒の意識の差を埋めるために、日ごろからの更なる生徒への声掛け・呼びかけの必要があるのでは。</p> <p>進路指導では、情報提供や授業・試験への対応は、保護者・生徒の8割近くが納得しているが、教員は半数近くが不十分さを感じている。今後、一層の入試等のデータ蓄積を行い、丁寧な進路指導を行うことが急務である。</p> <p>学校行事や部活動は、三者とも8割以上が満足している。しかし、これも又女子生徒の数値の低さが目立つ。徐々には改善されてきているが、以前の男子校時代から、共学校への脱却が必要である。</p> <p>施設・設備は、保護者の8割が満足しているが、生徒は5割、教員は6割程度である。</p> <p>全体を通じて、ここ3年間数値的な変化はほとんど見られない。どちらかと言えば、良い評価が微増している。ただ、保護者・生徒・教員の三者間で意識の隔たりを感じる項目があり、この差を埋めていくことが課題である。特に女子生徒の声に耳を傾ける必要があるのではないかと感じる。</p>

3. 本年度の取組内容及び自己評価

中間的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
□ 学習指導構想	<p>(1)学習活動の意識付けと家庭学習の習慣づけ ○現状分析に基づき、引き続きコースコンセプトの見直し、再設定 ○進学実績、グローバル商大コースを含め放課後授業の見直し ○家庭学習の定着化の取り組み・他大学対策講座の設定 ○カリキュラム改訂に向けての取り組み</p> <p>(2)不登校など生徒への指導 ○不登校生徒に対する授業確保と学力保障の取り組みの更なる推進、コーディネーターの養成 ○特別支援教育の取組</p>	<p>家庭学習推進の取り組み コースコンセプトの見直し、再設定 特化授業・資格取得授業 授業・満足度アンケートの実施と検証 他大学対策、文理進学コースで取組 授業確保と学力保障</p> <p>学習とノウハウの獲得 模擬授業・協力授業</p>	<p>・各検定試験合格数について目標設定。 英検 2 級→受験者数の 60%合格 漢検 2 級→受験者数の 50%合格 情報 2 級→受験者数の 20%合格</p> <p>・授業公開日の設定</p>	<p>各検定試験の結果 ・英検 2 級合格→合格 7 名&lt;受験 61 名&gt; ・漢検 2 級合格→合格 0 名 ※参考準 2 級合格→合格 16 名 ・情報 2 級合格→合格 2 名&lt;受験 59 名&gt; 上記のように結果は、目標値よりかなり低い状態であるが、少しでも目標に近づくように今後も取り組んで行く</p> <p>英語・数学・国語で互いの授業を参観するなど、機会を見て実施。 教科主任会で、さらに積極的に相互見学を実施する方向で提案する。</p>
□ 生活指導構想	<p>(1)中途退学者の減少を目指す取り組み ○基本的な生活習慣の確立 ○学習意欲の向上 ○保護者・生徒との面談と意思疎通の更なる拡大</p> <p>(2)自治活動の更なる活性化。あいさつ運動の推進。地域活動との連携</p>	<p>家庭訪問 校内の緑化・居場所作りの再構築 西門・東門・駐輪場監視カメラ設置 臨床心理士による対応 カウンセリング室など特別教室の整備 生活習慣の確立 保護者との面談の強化</p> <p>生徒の自主活動の確立と地域とのつながり 清掃活動 あいさつ運動</p>	<p>・懇談会を年最低 2 回以上実施</p> <p>・カウンセリングの充実</p> <p>・学校全体の年間遅刻数を 6000 以下にする</p> <p>・朝の学校周辺の清掃活動の定着</p>	<p>実施できている 家庭訪問は必要に応じて実施されている</p> <p>カウンセリングが実施回数 258 回&lt;昨年 252・一昨年 150&gt;は、年々増加している これは、カウンセリング本校で定着してきた結果と思われる</p> <p>年間遅刻数 5442 名&lt;昨年 6047・一昨年 8399&gt; 目標達成を達成した 引き続き取り組みを進める 在籍生徒数は増加しているが、目標値を下げずに、さらに取り組みを進めたい。</p> <p>清掃活動 3～4 クラブが実施している 地域より活動が評価されている</p>
□ 進路指導構想	<p>(1)系列大学を含めての連携 ○大阪商業大学・神戸芸術工科大学・大阪女子短期大学との高大連携の取組 ○大阪商業大学、神戸芸術工科大学の教員による本校へのアドバイザー活動の強化・発展 ○大阪商業大学附属幼稚園との連携</p> <p>(2)系列大学にない学部を持つ大学との高大連携と提携作り</p> <p>(3)学習指導と進路意識の高揚(総合の時間の利用)</p>	<p>進学実績</p> <p>新たな高大連携の模索 総合学習の時間の活用 提携校作り 指定校枠(女子)の拡大</p>	<p>・進路決定率の向上</p> <p>・国公立大学現役合格者の輩出</p> <p>・総合学習の企画提案</p> <p>・指定校推薦の拡充(特に女子)</p>	<p>最終進路決定率は 93.1%だった ほぼ例年通り 90%台に乗っている</p> <p>国公立大学 2 名合格 系列大学に 9 8 名入学など、進学(大学・短大・専門学校)は 8 4. 5 %。 計画に沿って、有効に実施 2・3 年ではコースの企画が中心となっている</p> <p>今年の指定校推薦大学 141 校&lt;昨年 136 校&gt; 数校ではあるが年々増加している</p>

<input type="checkbox"/> 教員 の 研 究 ・ 研 修 構 想	<p>(1)教員研修の実施。学校評価と連動して研究・公開授業の実施。教科による研究授業の実施</p> <p>(2)教育内容の充実(シラバスの完全実施)と生徒アンケートと公開授業による授業改善で教育力のアップ</p> <p>(3)中堅・若手教員対象研修会(担任力, 授業力), 交流会の開催と問題提起(教務・生活指導部)</p> <p>(4)外部研修会への積極的な参加</p>	<p>公開授業の実施 研究授業の実施(教科中心)</p> <p>教員研修</p> <p>外部研修会への積極的参加</p>	<p>・授業公開日の設定</p> <p>・教員研修年3回以上の実施</p> <p>・授業力の向上を図るため, 外部の教科指導セミナーへの参加(10名以上)</p>	<p>教科主任会で, 積極的に相互見学を実施する方向で提案する。</p> <p>学内で夏季に実施 2学期に計画したが実施出来なかった</p> <p>教科教育の研修会に7名, NHK話し方講座の研修会に5名参加など, 積極的に外部研修会に参加 英語科で2月に実施。今後も計画をする</p>
<input type="checkbox"/> そ の 他	<p>(1)地域との交流の更なる発展, あいさつ運動(地域清掃, 学校評価への参加), 学校行事の活用</p> <p>(2)国際感覚育成 ○修学旅行の検証・見直し</p> <p>(3)学校評価の取組</p>	<p>出前授業 オープンスクール・塾長説明会 各種説明会への参加 中学校芸術教員との研究授業 ホームページの改編 学校評価 修学旅行事前学習の充実</p> <p>文化祭など学校行事</p>	<p>・対中学校出前授業10校以上実施</p> <p>・オープンスクール等の参加数アップを目指す</p> <p>・海外修学旅行の実施</p> <p>・生徒満足度アップ</p>	<p>11中学校で実施。本校訪問7中学校</p> <p>オープンスクール465組675人。塾長78塾 15会場に参加。相談件数増加</p> <p>オーストラリアで無事終了</p> <p>アンケート結果では生徒の満足度は高いが, さらに工夫をしていく</p>